

# ♡親子読書『熊本の心』の感想より (R3 2学期実施)

【1年】「ぬぎすてたぞうり」

《児童》だしたものは、ちゃんとかたづけようとおもいます。

《お家の方》おもちゃなども出しっぱなしの時があるので、整理整頓を心がけてほしいと思います。

【1年】「きゅうけい先生」

《児童》ぼくも、きゅうけいせんせいのうたがすきになりました。

《お家の方》きゅうけい先生の優しさが歌に込められているんだなあと思いました。きゅうけい先生のことなど知らなかったのでよい勉強になり、歌を大切にしていかなければいけないなと思いました。

【2年】「光るえんがわ」

《児童》しばさぶろうが、もっとえんがわをきれいにしたいと思う気持ちがすごいと思います。

《お家の方》継続は力なりという言葉がありますが、大人でも毎日続けていくことは難しいことです。でも、負けずに続けることで、たくさんのものを得られると思います。私も自分に負けぬよう日々努力していきたいと感じた物語でした。

【2年】「かっぱのねがい」

《児童》かっぱは、にんげんたちにいたずらをしていたけど、にんげんがかっぱをたすけて、いたずらがなくなってよかったです。

《お家の方》一緒にお話を読んで、相手に優しくする心を学ぶことができました。相手に優しくすると、相手もそこに気付いて優しくしてくれる、とってもいいお話でした。

【3年】「大根のめ」

《児童》ぼくもやさいを作るのがすきなので、やさい作りからいろいろなことをべんきょうしたい。

《お家の方》小さい畑からも、自然の厳しさ、温かさを学ぶことができる。野菜が育つ姿を人間の一生に例えることができる。息子は畑仕事が好きなので、畑から生きるヒントを得てもらいたい。

【3年】「ぼくの町のたいこおどり」

《児童》ぼくは、青井神社でみこしを見るのを楽しみにしています。

《お家の方》地域の伝統文化が受け継がれ、子どもたちも楽しみにしているのは嬉しいことです。人吉でも伝統が子どもたちに受け継がれることを願っています。

【4年】「白魚の来る川」

《児童》ぼくは、このお話に出てきた宗像堅固という人物が、大雨で川があふれないように、「六年ののち、のべ四万二千人の人手と三百八十両の費用をかけて、大雨でも丈夫な川を築き上げたのですごいと思いました。

《お家の方》熊本の歴史は、先人達の努力や強い意志によってつくられてきたんですね。内容を聞いて驚くことばかりでした。こういう歴史を知ることによって、熊本や環境に対する意識をもっともっと高めてほしいです。

【4年】「千代の話」

《児童》千代が、だれよりもやさしい心をもっていることに感動しました。

《お家の方》貧しい暮らしの中でも、優しい心、感謝の気持ちを持ち続けられる千代は素晴らしいです。見習いたいと思いました。

【5年】「順子先生と少年」

《児童》少年が財布をぬすんだのに、自分があげたと言ってしかりもしなかったのに驚きました。自分なら警察に言っているところでした。

《お家の方》大きな心で少年を許し、少年のこれからを心配している姿にとっても感動しました。悪いことはいけません、何も言わず、何も聞かず、優しく接している姿はとても立派だと思いました。

【5年】「人生の金メダル」

《児童》やすひろ選手のように、初めて負けたときの理由をバネにして、ぼくもそのように生活していきたいです。

《お家の方》継続は力なり。続けることの大切さを改めて考えました。子どもに教えるだけでなく、自分自身も考えてみたいと思います。

【6年】「あきらめることは無意味だ」

《児童》私は、この本を読んで、天然痘という病気がはやり、たくさんの方が亡くなる中、功さんは、感染症の予防の研究をしたと分かりました。大変な中でも、人の命を救うためにがんばってすごいと思いました。これから私は、一つのことをあきらめずがんばろうと思いました。

《お家の方》この本を読み、今の自分に対して言われているように思いました。あきらめることは、本当に簡単です。最後の言葉の「人生の価値はやる気で決まる。あきらめることは無意味だ。」。あきらめる前に、まずは一歩からでもがんばりたいと思います。娘にもそういう人になってほしいです。

【6年】「筆をさがして」

《児童》ぼくは、この「筆をさがして」を読んで、順子さんは、父親のサポートを亡くなる直前まで続けた姿に、人に対するやさしさを感じました。

《お家の方》仕事とは何か？ 働く意味や目的、一人一人の仕事観を考えさせられました。人は様々な価値観を持ち働いています。自分のため、人のため・・・、息子にも周りの人達の姿を見ながら、じっくり働くことについて考えてほしいです。

【たんぼぼ・ひまわり学級】「ぼくの町のたいこおどり」

《児童》会社から帰ってきついことはたくさんあるのに、たいこおどりは、「見てくれる人たちのためだから。」と言って、ぜんぜんきつくないと言う、たいこおどりへの思いはすごいんだなあと思いました。

《お家の方》私の村の地区にも太鼓踊りがありますが、若者は減少し、踊り手は年老いてしまい、伝えることが難しくなっています。三百年以上前からの伝統芸能が現在まで伝えられていることはすばらしいと思いました。(祖母)

【たんぼぼ・ひまわり学級】「かけ足登校」

《児童》わたしは、家から学校まで500メートルもありません。この人たちは、すごいなあと思いました。ぜんぶでたんぼぼ24キロメートル！

《お家の方》坂はありますが、学校まで近く、走れば5分かかりません。習慣は大事だと思います。地元からオリンピック選手が出るのは、とても嬉しいですね。